



すみだだより

令和6年9月2日 校長 朝日滋也

今年の夏は、沸とう京

今年の夏は
沸とう京

今年もまた、暑い夏休みでした。昨年の学校だよりには「ほぼ毎日が猛暑日」と書いてしまいましたが、実際のところはどうなのか。私の自由研究として、気象庁のホームページから、データを集めてみました。

東京都の気候のデータ (※ 8月26日現在)

年	最高気温の平均値		35℃以上の猛暑日	出来事 / 夏の甲子園優勝校
	7月	8月		
令和2年(2020)	27.7℃	34.1℃	12日	／新型コロナウイルスの影響で中止
令和3年(2021)	30.3℃	31.6℃	2日	東京オリンピック・パラリンピック / 智弁和歌山
令和4年(2022)	31.7℃	32.0℃	16日	／仙台育英
令和5年(2023)	33.9℃	34.3℃	22日	／慶応
令和6年(2024)	33.5℃	※34.1℃	※19日	パリオリンピック・パラリンピック / 京都国際

「毎日が猛暑日」というのは言いすぎでしたが、この3年間、「危険な暑さ」の日は、確実に多くなっています。東京都は「今年の夏は沸とう京」と名付けて、熱中症予防を呼び掛けていました。今日から2学期が始まり、子供たちの元気な声が響き渡るようになりました。一人一人の安全と健康、そして人権を大切にする教育活動を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

「命を守る3つのポーズ」～ 揺れたらすぐに～



元日の能登半島地震では約40%の方が、倒壊した建物の下敷きになり、圧死で亡くなっています。

東日本大震災(2011)では90%以上の方が津波に巻き込まれ溺死されていますが、阪神・淡路大震災(1995)でも、70%以上が建物の倒壊等に伴う窒息・圧死で亡くなっています。

これらのことから、**「揺れを感じたら、まずは自分の頭と体を守ること」**が何より大切です。

本校では、避難訓練で「さる」や「だんごむし」のポーズをとることを繰り返し練習しています。ぜひ、御家族でも話し合い、命を守るポーズを確認してください。

8月8日には、日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、大きな地震発生の可能性が高まったとして、南海トラフ地震臨時情報が発表されました。東京では、首都直下型地震が、発表のあった令和4年以降30年以内に70%の確率で発生すると予想されています。

日頃から家具の転倒防止を施す、避難方法や連絡方法を確認するなど、震災に備えることが大切です。

9月4日(水)は総合防災訓練と引き渡し訓練を行います。14時頃、学校にお子さんを引き取りに来てくださいますようお願いいたします。



電子錠とインターホンはここに 있습니다

正門に電子錠が付きまして、保護者の方には、別紙で暗証番号をお知らせします。一般の来校者はインターホンで係を呼び出してください。お名前、御用件を確認できましたら、解錠いたします。